

矛盾

①

1

次の書き下し文を読んで、後の問いに答えなさい。

楚人に盾と矛とを鬻ぐ者あり。

これをほめていはく、「わが盾の堅きこと、よく

陥すものなきなり。」と。

またその矛をほめていはく、「わが矛の利なるこ

と、物において陥さざるなきなり。」と。

ある人いはく、「子の矛をもつて、子の盾を陥さ

ばいかん。」と。

その人応ふることあたはざるなり。

* 楚人：楚の国の人。

* 鬻ぐ：売る。

* よく陥すものなきなり…突き通すことのできるものはない。

* 物において陥さざるなきなり…どんなものでも突き通すこと

できないものはない。

* 子：あなた。

* いかん：どうなるか。

* あたはざるなり…できなかつたのである。

※句読点や符号も一字と数えます。

(1) ①とありますが、何を指していますか。書き下し文から一語で書き抜きなさい。

[]

(2) ②とありますが、「矛」のどんな点をほめていますか。最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア もうかる点。

イ がんじょうな点。

ウ するどい点。

エ めずらしい点。

[]

(3) ③とありますが、だれのことですか。書き下し文から八字で書き抜きなさい。

[]

組 番 名前

かかった時間 正解数

分

1

(1) 盾

(2) ウ

(3) 盾と矛とを鬪ぐ者

間違った問題を確認してみよう！

1

次の書き下し文を読んで、後の問いに答えなさい。

楚人に盾と矛とを鬪ぐ者あり。

① これをほめていはく、「わが盾の堅きこと、よく陥すものなきなり。」と。

② またその矛をほめていはく、「わが矛の利なること、物において陥さざるなきなり。」と。

ある人いはく、「子の矛をもつて、子の盾を陥さばいかん。」と。

③ その人応ふることあたはざるなり。

* 楚人：楚の国の人。

* 鬪ぐ：鬪る。

* よく陥すものなきなり：突き通すことのできるものはない。

* 物において陥さざるなきなり：どんなものでも突き通すことのできないものはない。

* 子：あなた。

* いかん：どうなるか。

* あたはざるなり：できなかったのである。

※句読点や符号も一字と数えます。

(1) ①とありますが、何を指していますか。書き下し文から一語で書き抜きなさい。

(2) ②とありますが、「矛」のどんな点をほめていますか。最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア もうかる点。
- イ がんじょうな点。
- ウ するどい点。
- エ ぬすらしい点。

(3) ③とありますが、だれのことですか。書き下し文から八字で書き抜きなさい。
